

平成25年第8回教育委員会会議議事録

1 開催日時

平成25年6月28日(金) 午後3時30分～午後4時03分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

教育委員	委員長	沖田 道子
	職務代理	小尾 一彦
	委員	瀧本 洋次
	委員	早津 聡子
	教育長	飯田 晴義
事務局	教育部長	羽磨 知成
	学校教育課長	川瀬 康彦
	生涯学習課長	澤部 紀博
	給食センター所長	坂口 惣一郎
	総務係長	向井 克久
	学校教育係長	佐藤 勝博
	学校教育推進員	吉村 泰之

4 議 事

報告第13号 歴史の散歩道の選定申請について

報告第14号 幕別町小学生国内研修派遣事業(宮崎県日向市・埼玉県上尾市)の参加団体の決定について

議案第38号 幕別町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について

議案第39号 要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定について

5 議事概要 次のおり

沖田委員長 只今から第8回教育委員会会議を開会いたします。本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1会期の決定についてお諮りします。本日一日限りとすることにご異議はありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 会期は、本日一日限りと決しました。

次に日程第2会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に1番瀧本委員、5番飯田委員を指名いたします。

次に日程第3前回会議の承認であります。第7回教育委員会会議について、別紙議事録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、第7回教育委員会会議を承認いたします。

次に日程第4事務報告についてお願いいたします。

教育部長(羽磨知成) 事務報告といたしまして、平成25年第2回定例会一般質問について報告いたします。

別紙の答弁書をご覧くださいと思います。5月31日に開会いたしました第2回町議会定例会におきまして、議員20人中13人が一般質問を行いました。その内教育委員会に対しては、6月12日に2人、13日に1人の計3人から質問がありました。

通告順3番の斉藤議員からは、町づくりと後期中等教育についてという質問の中で、町内中学校からの幕別高校・江陵高校・中札内高等養護学校幕別分校への入学者数について、幕別高校入学者数減少の要因と分析について、町内2高校の存続に向けた支援と施策についてを問うものであります。

4番の成田議員からは、教育行政の今後の見通しについての質問で、再質問では教職員に対する教育委員会の処分のあり方について問うものであります。

13番の中橋議員からは、生活保護扶助基準引下げの影響と、制度後退改正の中止をと題しまして、就学援助の町独自の手立てについて質問があったところであります。詳細については、お手元の答弁書のほか、町ホームページの議会中継をご覧くださいと思います。

町議会関係で、もう1点ご報告をさせていただきます。本議会初日の5月31日に、議会の常任委員会の総務文教委員会が開かれました。教育委員会に関する事項が所管事務調査として取り上げられていました。当方から説明した事項は児童生徒数の推移について、学校施設の今後の整備について、体罰調査結果についてであります。体罰調査結果については、本町では1件該当事案があったことを報告いたしました。なお、出席議員からの質問はありませんでした。

事務報告は以上であります。

沖田委員長 事務報告につきまして、何か質疑等ございますか。

(ありません)

沖田委員長 質疑がないようですので議件に入ります。日程第5報告第13号歴史の散歩道の選定申請について説明を求めます。

生涯学習課長(澤部紀博) 報告第13号、歴史の散歩道の選定申請について、ご説明申し上げます。

議案書の1ページ、2ページをご覧くださいと思います。歴史の散歩道の事業は、幕別町開基100年の歴史を振り返り、歴史的、文化的史実等を形として残し、後世に伝え、地域の歴史と文化に触れ合うことができる環境を作るとともに、子供たちが郷土の歴史と文化を学習することができる環境を整えるために、平成9年度から行っており、これまで、89か所を選定し、その内27か所に案内看板を設置してきたところであります。

本日、報告いたしますのは、4月2日に申請のあった忠類村農協澱粉工場跡についてであります。澱粉工場はご承知のように馬鈴薯を加工する施設であり、馬鈴薯は、寒冷地農業にとって欠くことのできない作物で、当時の貴重な食物でもありました。このたび申請のありました忠類村農協澱粉工場は、昭和17年9月に大樹産業組合忠類澱粉工場として忠類市街地に建設されました。昭和23年には、組合員319人で誕生した忠類村農協の直営工場となり、当縁川から引かれた川水で15馬力のタービンと、14人の従業員により、主に一番粉澱粉、でんぷん質が多く色が白い、良質なものを生産してきた施設であります。

その後は、時代の流れとともに昭和34年に操業を中止し、昭和43年には、中札内村に

5農協により発足した合理化澱粉工場へと受け継がれました。当時、農産加工の花形であった澱粉工場は、忠類地域でも7つの澱粉工場が操業しておりましたが、今はその役目を終えたところであります。申請後のこれまでの流れとしましては、5月22日に、ふるさと館事業委員としらかば大学ナウマン校の役員で構成します歴史の散歩道選定協議会において、本件に関する意見をお伺いいたしました。

1ページ中段以降に、(2)として歴史の散歩道選定協議会の主な意見、(3)には選定協議会の意見のまとめを記載しておりますので、朗読をさせていただきたいと思っております。①「歴史の散歩道」は全町的なもので、忠類地域限定のものではない。②50年前のことで建物も残っておらず、調べようがなく取り上げることが難しい。③建物も何もないところに、立て縦看板を建ててもそれだけで終わってしまうのでは。④澱粉工場は、幕別地区にも14ヶ所あり、忠類地区だけでも7カ所もあったということから考えると、代表として1カ所だけを選定することにならないのではないか。⑤閉校した学校と物を生産する工場とは、意味合いが異なるのではないか。⑥学校教育の現場でも、幕別町の歴史を学ぶが、深く学べる時間がない。⑦幕別町全体で探してどこにもなくて、忠類だけのものだったら是非選定したい。⑧「澱粉工場」の歴史は、後世に伝えていく必要のあるものである。⑨農業関係の若手を育成する中の一環として、各農協などで記録しておくことの方が意味があるのではないか。との意見でありました。

(3)の意見のまとめでは、澱粉工場は、幕別地区に14か所、忠類地区で7か所あったものから、代表として1か所、忠類村農協澱粉工場跡だけを選定するのは、これまで全町的な中から選定していた経緯、また、全てを取り上げるにしても、資料が残っていないことを考慮すると選定に馴染まない。しかし、澱粉工場の歴史は、後世に伝えていく必要のあるものとするが、その手法は、歴史の散歩道に限定するのではなく、農業分野の観点等から広域的な組織によることが好ましい。とまとめたところであります。これらの意見を踏まえ、教育委員会としましては、本件については選定しないこととし、6月3日開催の幕別町社会教育委員会会議において、その旨を報告し、現在にいたっているところであります。

以上で歴史の散歩道の選定申請についての説明を終わらせていただきます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

沖田委員長 質疑なしと認めます。報告第13号につきましては、報告のとおりといたします。

次に日程第6報告第14号幕別町小学生国内研修派遣事業(宮崎県日向市・埼玉県上尾市)の参加団員の決定について説明を求めます。

生涯学習課長(澤部紀博) 報告第14号幕別町小学生国内研修派遣事業(宮崎県日向市・埼玉県上尾市)の参加団員の決定についてご説明申し上げます。

議案書の3ページ、4ページをご覧ください。小学生の国内研修派遣事業は、団体生活やホームステイを通じて、派遣先の歴史や生活、文化等に触れるとともに、派遣先の児童との交流を通じて、将来の幕別町を担う少年活動のリーダーを養成しようとするものであります。宮崎県日向市と埼玉県上尾市の2市との間で研修派遣事業を行っており、日向市とは平成7年から、上尾市とは昭和50年から始められているもので、派遣と受入は隔年で実施し、今年度は2市とも派遣する年になります。

派遣する児童は、いずれの研修も小学5、6年生になり、各学校からの推薦をいただき、過日、日向市20人、上尾市11人について決定させていただいたところであります。研修の行程につきましては、日向市が8月2日(金)から8月5日(月)までの3泊4日、上尾市は7月26日(金)から7月30日(火)までの4泊5日となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

早津委員 引率される方は学校の先生ですか。

生涯学習課長(澤部紀博) 日向市につきましては、教育委員会2人、小学校の先生1人で考えております。上尾市につきましては、従来から子ども会が中心になって行っていた事業ですので、そちらから3人、内訳としては3人のうち2人が学校の先生で、1人は教育委員会職員ということで設定しております。

沖田委員長 定員というのは、人数は決まっているのですか。

生涯学習課長(澤部紀博) 日向市は20人、上尾市については15人なんですが、希望者がそこまで達していないという事になっております。

沖田委員長 他に何かございませんか。

(ありません)

沖田委員長 報告第14号につきましては、報告のとおりといたします。

次に日程第7議案第38号幕別町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について説明を求めます。

学校教育課長(川瀬康彦) 議案第38号、幕別町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。

議案書は5ページであります。幕別町いじめ問題等対策委員会につきましては、いじめにかかわる諸問題を協議し、児童生徒の心身の健全な成長を図ることを目的に設置されておりまして、講演会の開催やいじめ防止標語の募集等の事業を実施しているところであります。また、本委員会につきましては、設置要綱第2条第1項の規定によりまして、17人以内で組織し、委員は、教育委員会が委嘱を行うものであります。

本年度の委員につきましては、議案書にありますように、要綱第2条の1号委員として校長2人、途別小学校の鈴木校長と札内東中学校の池浦校長、2号委員として教頭2人、途別小学校の山本教頭と札内東中学校の井口教頭、3号委員として教員8人、幕別小学校の新町教諭、明倫小学校の高橋教諭、白人小学校の守屋教諭、札内南小学校の内山教諭、札内北小学校の金曾教諭、忠類小学校の高城教諭、幕別中学校の山本養護教諭、札内中学校の中野教諭、4号委員として教育相談員1人、西尾子どもサポーター、5号委員として町PTA連合会の役員2人、佐賀野会長、大上副会長、6号委員として教育委員会職員2人、学校教育課長の川瀬、学校教育係長の佐藤、以上、1号委員から6号委員まで、あわせて17人の委員に対しまして、本委員会の第1回目の開催日となります平成25年7月9日付けで、委嘱を行おうとするものであります。なお、委員の任期は平成26年3月31日までであります。

説明は以上であります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

瀧本委員 この会議は定期的に行っている会議なのか、事案が発生した時の開催となっているのですか。

学校教育課長(川瀬康彦) 年に2回定期的に開催しております。

沖田委員長 その他何かございますか。

小尾委員 確認ですが、5号委員の所属ではPTA連合会になっているのですが、下の設置要綱ではPTA連絡協議会、どちらが正しいのでしょうか。

学校教育課長(川瀬康彦) PTA連合会の方が正しいです。

沖田委員長 その他何かございませんか。

(ありません)

沖田委員長 お諮りいたします。議案第38号について原案通り可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、議案第38号については原案通り可決いたしました。

次に日程第8議案第39号要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定につきましては、プライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 秘密会といたします。

沖田委員長 秘密会をときます。他に何かございませんか。

瀧本委員 先日、給食で札幌市の子どもさんが窒息ということがあったのですが、幕別町ではどのような対策を行っていますか。

また、幼稚園・保育所・養護学校へと給食を出しているのですがそれらに対してどのような考え方で進めておられるのですか。

給食センター所長(坂口惣一郎) 学校給食で出されている献立の内容について、前段として平成24年度の実績を説明させていただきます。

当給食センターにおいては、今回事故のあったような種のあるようなものは出しておりません。ただ、喉をつまらせる心配のある献立としては、団子や餅類は出しておりません。

回数は、幕別町では、長いも団子1回、カボチャ団子1回、いも団子が2回の年間計4回です。忠類では団子類はありませんが、餅類がありまして、かしわ餅、きつね餅、さくら餅等7種類各1回出しております。

大きさについては、直径2センチ、厚さ1センチとなっております、冷凍の加工食品となっております。

調理方法は、団子は全て汁物で煮込んで、餅類については、自然解凍です。

学校教育課長(川瀬康彦) 児童生徒の給食指導に当たっての安全確保という面ですが、平日頃より学校においては食育という観点、給食の指導という観点から指導を徹底しているところであります。今回こういう事故が起きたということに当たり、改めて各学校長に対して、万が一事故が発生した時の緊急対応や、校内の緊急管理体制を再確認していただきますように、文書を配付しているところであります。

瀧本委員 幕別町においては、保育所から養護学校まで給食を出しているんですけども、小中学校以外の学校教育から外れた部分で万が一事故が起きた場合、どのような責任のようなものになっていくのですか。

教育部長(羽磨知成) その時の状況によって判断がされていくと思います。第1次的には普段からの指導をしっかりしているのかという観点になってくると思うので、よく噛んで飲み込むという指導を徹底していきたいと思います。

沖田委員長 保育所や養護学校には先ほどの通知文書は送っていませんか。

教育部長(羽磨知成) おそらく同じような通知はいつていると思うが、今一度確認をさせていただきます。

沖田委員長 その他何かございますか。

生涯学習課長(澤部紀博) 幕別コミュニティーカレッジ及び、青少年公開講座サイテクアドの開催について、ご説明申し上げます。

議案の一番最後になります。この2つの事業は、去る6月6日に北海道工業大学と幕別町が、人的資源の交流と物的資源の活用を通して、お互いが協力し合う中で、地域と大学

の活性化を図ることを目的に締結した地域連携協定に基づいて行うものであります。

まず、幕別コミュニティーカレッジの開催について説明させていただきます。この公開講座は、社会が抱える諸問題を町民のみなさんと一緒に考えることで、町の活性化に寄与することを目的に行うものであります。7月25日（木）を皮切りに、セミナーやパネルディスカッションを開催することになりますが、会場は4回開催されるセミナーが町民会館、第5回目となります。パネルディスカッションが、バスで移動して北海道工業大学で行うこととなります。

セミナーの内容につきましては、予防医療、人間生活のサポートシステム、暮らしと薬、住宅の安全・安心、これらについて考えると題して行い、パネルディスカッションは、幕別町の安全・安心を考えると行う予定であります。受講資格は、幕別町内に在住、あるいは勤務している高校生以上で、参加料は無料で、定員は30名となります。幕別コミュニティーカレッジの開催につきましては、以上でございます。

次に、サイテックアドの開催についてであります。サイテックアドは、サイエンス&テクノロジー・アドベンチャーを略した言葉で、科学技術に興味を持ち、挑戦していただきたいとの思いから、小学3年生から6年生を対象に、小学生向けモノづくり教室として開催するものであります。

開催日時は、8月9日（金）の午後2時から4時までで、町民会館を会場に、北海道工業大学の木村尚仁教授をはじめとする大学関係者にご協力いただき、リモコンカー作りを行うこととしています。参加料は無料で、参加定員は30名です。いずれの事業も、参加の申し込みは教育委員会生涯学習課で、申し込み期限は7月19日までとなっています。

以上で、幕別コミュニティーカレッジ及び青少年公開講座 サイテックアドの開催についての説明を終わらせていただきます。

沖田委員長 何か質疑等ございませんか。

(ありません)

沖田委員長 それでは、以上をもちまして本日の議事日程の全てが終了いたしましたので、第8回教育委員会会議を閉じます。